

2026（令和8）年度 手話通訳者全国統一試験の手引き

実施：京都府・京都市

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会

1 試験概要

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題、採点基準、合否判定基準、及び具体的実施方法等について社会福祉法人全国手話研修センターから提供を受け、各都道府県・政令指定都市試験実施団体はそれに基づき手話通訳者全国統一試験を実施します。

- (1) 試験 日：2026（令和8）年12月5日（土）
- (2) 申込受付開始：2026（令和8）年8月1日（土）
- (3) 申込締切：2026（令和8）年9月18日（金） 17時必着
- (4) 合 否 発 表：2027（令和9）年3月末日までに通知します
- (5) 試験 内 容：＜筆記試験＞ 手話通訳者に必要な基礎知識・国語
＜実技試験＞ 場面通訳
- (6) 試験 会 場：京都経済センター（〒600-8009 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地）
- (7) 申 込 方 法：試験申込は郵送による提出のみ ※窓口への持参提出は不可
- (8) 申込先および問合せ先：

〒610-0121 京都府城陽市寺田林ノ口 11 番 64（京都府聴覚言語障害センター内）

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 手話通訳者全国統一試験京都事務局

専用電話番号：080-8343-9351

※問合せは平日 9 時から 17 時までの時間内のみ対応（時間外および土日・祝日の問合せには対応不可）

2 受験対象者

下記のいずれかに該当する者で、京都府に登録を希望する者

- (1) 手話通訳者養成課程修了者および 2026 年度修了見込みの者
- (2) 手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者
（国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科の卒業生、
群馬大学サポータープロジェクト修了者、龍谷大学手話通訳講座修了者 など）

3 試験科目及び出題範囲

(1) 筆記試験(100 分)

① 手話通訳者に必要な基礎知識

【出題範囲に対応するテキスト】発行：社会福祉法人全国手話研修センター

「手話奉仕員養成のための講義テキスト」(第4版 2025年4月1日発行)
「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」(第3版6刷 2025年2月13日発行)
「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」(第5版 2024年7月1日発行)
「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」(第2版 2025年4月30日発行)
「手話通訳者養成のための講義テキスト 改訂版」(第4版 2025年2月13日発行)

※各テキストの重版に伴う正誤表は、ウェブサイト(QRコード)からご確認ください。
内容の詳細は、以下のホームページ内の「出版物案内」ページをご覧ください。

- 全国手話研修センター：「出版・発行物のご案内」
<https://www.com-sagano.com/books/>
- 全日本ろうあ連盟：「出版物のご案内」
<https://jfd.shop-pro.jp/>



② 国 語

- ・手話通訳に必要な国語についての基礎知識や総合的な国語力の範囲
- ・発音の仕方、音の区別、アクセント
- ・単語(言葉の意味、類義語、同音異義語、和語、漢語、外来語、新語、慣用句等)
- ・文法(品詞、文の構造等)
- ・文字(漢字、仮名遣い、表記法等)
- ・表現法(敬語の使い方、諸種の文章の書き方等)
- ・文章読解(やや長文の論理的な読解・要約等)
- ・簡単な文学史

(2)実技試験

場面通訳試験(場面における聞き取り及び読み取り通訳) 1問

ろう者ときこえる人の会話場面が収められた映像(約4分間)が再生されます。その会話を、その場で通訳してください。出題内容は、相談、医療、労働、文化活動など、日常生活に関わる場面から出題されます。通訳の内容はビデオカメラで収録し、後日採点・評価を行います。

4 試験実施団体に提出する書類

受験申込者は、次の(1)(2)の書類を、試験実施団体へご提出ください。

(1)受験申込書 ※写真貼付

記入漏れのないよう、ボールペンを使用し、楷書で正確にご記入ください。

受験申込日から6ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽の証明写真(縦4.0cm×横3.0cm)を指定欄に貼り付けてください。写真を貼る前に裏面へボールペンで氏名を記入してください。

(2)受験票

記入漏れのないよう、ボールペンを使用し、楷書で正確にご記入ください。

5 受験者への注意事項

(1)試験全般

- ・試験中は、試験会場(以下 試験会場とは建物を示します)の指定された場所以外に立ち入らないでください。
- ・試験会場は全館禁煙です。
- ・試験会場内では、試験に関するお問い合わせには対応いたしません。
- ・試験会場入室後は、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・パソコン等の通信機器は試験終了(試験が終了し試験会場から出る)まで使用できません。スタッフの指示に従い、電源を切ってください。
- ・その他、試験監督者の指示にも従ってください。
- ・受験票は、合否発表まで大切に保管してください。合否・合格証書に関するお問い合わせは、手話通訳者全国統一試験京都事務局へお願いします。
- ・試験問題(筆記試験・実技試験)の内容を、SNS その他インターネット上へ投稿・公開することを禁じます。

(2)筆記試験

- ① 試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験中は机の上に置いてください。
- ② 試験開始30分前までに入室し、受験番号と同一番号の席に座ってください。
- ③ 筆記用具は、鉛筆、消しゴムをお持ちください。

(3)実技試験

実技試験は受験番号順に実施します。呼び出しがあるまで静かに待機してください。